

紙面に掲載されている映写機マークがある写真をスマホをかざすと写真が動く「AR」を導入しています。体験するには「Aurasma」アプリが必要です。導入方法などは町ホームページをご覧ください。「三芳町 AR」で検索！



三芳町 AR 検索

505人が駆け抜けた 新春恒例イベント

第36回 新春ロードレース大会

「よーいスタート！」。三芳町の新春を告げる号砲が役場庁舎前に鳴り響いた1月17日(日)。505人が参加した新春ロードレース大会が開催されました。「こうした地域密着の大会は大切にしたいですね(観客)」。親子でコースを走る競技では、仲良く手をつなぎ、時には大人を引っ張る姿も見られました。



↑親子部門のスタート。子どもが先導し、へとへとになる大人の姿も見られました。



↓ e-Tax に初挑戦の林町長。「思った以上に簡単に申告ができた」。



手軽に自宅で確定申告を 川越税務署確定申告書作成体験会

三芳町では毎年3千を超える人が申告会場に訪れるため、お待たせするケースが少なくありません。そこで一人でも多く、自宅で簡単に確定申告ができる「e-Tax」を利用してもらうための広報PRとして1月27日(水)に川越税務署で近隣市町長が集まり、実演を行いました。初めてパソコンでの申告に挑戦した林町長は「積極的に勧めていきたい」と話しました。

↓本紹介のあとの質問タイムでは、鋭い質問がぶつけられました。



5分間の白熱プレゼンテーション 中高年の読書会「ビブリオバトル」

1月21日(木)、中央図書館視聴覚室で開催した「中高年の読書会 ビブリオバトル」。今盛んに全国で行われているビブリオバトルは、1人5分以内で読んでほしい本をPRし、読んでみたくなくなった本を投票、順位を争います。「借金の代わりに渡したいじくが、なんとこのあと！」と思わず読んでみたくなるように、それぞれが工夫をしながらおすすめ本をPRしていました。

フォトニュースに掲載しきれないイベントや写真は町のFacebook「いいね！三芳町。」で配信中。ロゴがあるイベントは関連した情報などをFacebookで公開しています。



落ち葉と歴史をギュッと ヤマの大きな恵み体験

多福寺境内林で体験落ち葉掃き

「こんなにたくさん落ち葉を持ち上げられるんだ！」と元気いっぱい顔が見えなくなるほどの落ち葉を持ち上げる子どもたち。1月16日(土)に開催した体験落ち葉掃きに168人が参加し、三芳町の「ヤマ」と歴史を楽しみながら体験しました。集めた落ち葉は発酵させ堆肥に。この循環型農法が世界から注目されています。



↑「落ち葉と歴史に触れるいい機会です(参加者)」。笑顔に包まれる会場。

↓「明るく、楽しく、あきらめない」がモットーの辻井いつ子さん。



親ばか力で才能を引き出す ヒューマンフェスタ2016

「親ばか力と言っても、自己中心的な親になるのではなく、たっぷり愛情をもち褒め、応援して才能を引き出していく力のことです」と話すのは天才ピアニスト辻井伸行さんの母、辻井いつ子さん。1月30日(土)にコピスみよしで開催した、人権を考える「ヒューマンフェスタ2016」で講師を務め、全盲で生まれた伸行さんと二人三脚で歩んできた経験を話しました。

↓グリーンサポート隊をはじめ小さな子どもたちも落ち葉掃きに参加。



落ち葉のプールが堆肥に変わる 平地林再生事業地の落ち葉掃き

埼玉県のトラスト保全地として指定された緑地公園周辺の平地林で、「みよしグリーンサポート隊」と「正木体験農園落ち葉掃きの会」との共催で、落ち葉掃きを行いました。落ち葉を集めてできた集積所はまるで「プール」のようです。その脇にはすでに発酵した堆肥があり、掘ってみるとカブトムシの幼虫がひょっこり顔を出し、子どもたちは大喜び。この落ち葉は堆肥として使われます。